



# 柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

## 保護者の皆さんと保育園の統合・再編を考える



保護者の皆さんと柿崎区内 4 保育園の統合・再編について意見交換を行いました

みんなの保育園を考える会では、3月に柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書を市へ提出しました。それを受け、幼児保育課が6月から8月にかけて区内4保育園の保護者の皆さんを対象に意見交換会を行い、みんなの保育園を考える会もオプザーバーとして参加しました。

意見交換会は、最初に「上越市保育園の適正配置等に係る計画（第4期）」の基本方針と、区内4保育園の統合・<sup>4</sup>に<sup>4</sup>に向けた検討の

説明があり、保護者の皆さんが不安を抱かないよう丁寧に進められました。説明のあと、統合・再編や保育サービス、民間移管に関して意見交換が行われました。主な意見は次のとおりです。

### ■柿崎第一保育園

- ・ 移転先の候補として、災害リスクの危険性がある場所は心配
- ・ 施設の老朽化を考えると、統合は必要である。
- ・ 4園を一度ではなく、段階的に2園ずつ統合する考えもある。

### ■柿崎第二保育園

- ・ 統合にあたり、旧園と新園で重複せずに開園と同時に入園したい。
- ・ 民間移管と統合には反対である。
- ・ 統合は現状を考えると仕方ない。

### ■上下浜保育園

- ・ 園の特色ある園庭傾斜について、統合園でも築山のようなものを検討してほしい。
- ・ 小学校区も考えて入園先を決めている。

統合は賛成であり、子どものためになる保育園を検討してほしい。

### ■下黒川保育園

- ・ 園児数が増えることにより感染症リスクが心配である。
- ・ 区内が広いため通園を考慮したより良い場所を検討してほしい。
- ・ 4園統合にあたり、他園との交流を行ってほしい。

なお、市の今後の取組は次のとおりです。

- 各保育園の保護者を対象に、統合・再編に関する意識調査を実施し、その結果等を保護者や地域の皆さんへ報告
- 統合・再編をはじめとする具体的な取組内容をまとめたうえで、今年度中に保育園の適正配置等に係る計画を公表予定

○民間移管は、統合・再編の枠組みを確定させた後、地域の皆さんや受け入れを希望する民間法人の意向を確認し、今後も引き続き検討する。

これからも、みんなの保育園を考える会は、より良い新園ができるよう引き続き協力していきます。（みんなの保育園を考える会

委員長 小山 慶

# 柿崎区の魅力・特長を地域独自の予算で事業化します。

## 地域活性化の方向性

柿崎区の米山と日本海にいだかれた魅力のまちという強み（個性・特性）をいかして、三大薬師「米山」のブランド力を高め、地域を活性化します。

柿崎区地域協議会は、柿崎区の多くの魅力、特長、目指すべき姿などを検討し、それを「地域活性化の方向性」にまとめ、活性化のために必要な6つの要素を考えました。地域独自の予算事業を活用して6つの要素を事業化し、「住みやすいまち・柿崎」を次世代に引き継ぎたいと思っています。



グランピング

## 2 交流・イベント

- ・米山の豊かな自然を生かして、キャンプ、グランピング、サウナなど
- 若者と交流できるイベントを企画します。
- ・伝統を大切に、「米山・柿崎」を掲げ、各地区のイベント、祭りなどの連携を推進します。

米山山岳マラソン



大出口・吟田川の水を販売

フォトコンテストで海に沈む夕日のイベント開催

## 1 発信

- ・米山・田んぼ・山からの景観、史跡などの魅力を「フォトコンテスト」等、SNS を活用して広く発信します。

ロゴマークの募集

SNS で魅力を発信

## 6 「米山・柿崎」ブランド化

- 地域の活性化に取り組む旗印として「米山・柿崎」を掲げ、クラウドファンディング、企業の参加等を促進し、柿崎区の自治力を高めます。
- ・米山・柿崎の親しみやすいロゴを作り、イベント・地産品に活用します。



柿崎の宝はやっぱり米山だね

米山登山道の整備

## 5 文化

- ・米山を核に史跡や伝統文化を発掘・継承し、広く発信するとともに郷土愛を育てます。

郷土愛を育む

名所巡り

移住・定住促進

## 4 暮らし

- ・米山と海に囲まれた自然の中で、子育て環境の充実、空き家の活用などを図ることで移住・定住を促進します。

空き家を利活用

## 3 産業

- ・米山の豊かな水を生かした、山・里・海の地産品ブランド力を高め魅力をアピールします。



明日へつなぐ事業検討委員会は、米山を核に活性化を検討しています

## ■明日へつなぐ事業検討委員会

柿崎区地域協議会は、「明日へつなぐ事業検討委員会」を立ち上げ、地域独自の予算事業の要求に向けて検討を始めました。

柿崎の「宝」を活かして、もっと柿崎を盛り上げましょう。来年だけでなく、さらにその先に向けて、皆さんのアイディアと参加をお待ちしています。

TEL 536-2211 (柿崎区 総務・地域振興グループ)

E-mail kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

## 3 年間の地域おこし協力隊の取組を振り返って

筒井 倬貴 じゆん き

私は、令和 2 年 7 月 1 日から令和 5 年 6 月 30 日まで、水野、下牧、平沢集落で地域おこし協力隊として活動してきました。この度、地域おこし協力隊を退任し、下牧集落に定住することを決めました。

これまでの活動内容は、農業振興、そば・もちの特産品の開発及び販路拡大、地域振興でした。地域振興では、下牧集落を中心に移住者の呼び込み活動に力を入れてきました。その結果、下牧集落に 1 家族、水野集落に 2 家族が移住してきました。今後とも集落の皆さんと協力して、移住者と呼び込む活動を続けていきます。

また、近隣の学校の授業に携わることも多く、3 年目には、学校から授業の依頼がありました。担当地域外の学校のイベントとのかかわりも増え、3 年間で集落の賑わいが増してきました。恒例の授業として続けていけるように尽力していきます。

中山間地域での生活は、決して楽なものではなく、都市部と比べると生活は安定しません。それでも、豊かな自然と資源に価値を感じ移住してきました。今後も、生きがいにあふれた生活を楽しみ、その様子を発信して、賑わいのある地域づくり、生涯に渡って貢献したいと考えています。



そばの特産品開発・販路拡大を目指しています

## 柿崎区地域協議会の主なうごき(令和 5 年 7 月～令和 5 年 9 月)

開催月日	実施項目	開催月日	実施項目
7 月 18 日	第 4 回地域協議会	8 月 22 日	第 3 回明日へつなぐ事業検討委員会
7 月 18 日	第 3 回地域協議会だより編集委員会	8 月 22 日	第 4 回地域協議会だより編集委員会
7 月 31 日	(仮称)かきざき空き家利活用推進協議会第 2 回設立準備委員会	8 月 31 日	(仮称)かきざき空き家利活用推進協議会第 3 回設立準備委員会
8 月 17 日	第 31 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	9 月 15 日	第 32 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議
8 月 22 日	第 5 回地域協議会	9 月 19 日	第 6 回地域協議会

### 【編集後記】

高温注意情報・熱中症警戒アラートが連日発令されている中で行われた今年の柿崎納涼花火大会、黒川黒岩ふれあいまつり、下黒川地区夏まつりのどの花火も今までになく華やかで見物客を楽しませてくれました。夏祭りや花火大会を開催して下さった地域の皆さんの活力を感じることができた夏の一大イベントとなりました。来年も今年以上に盛大なることを楽しみにしています。  
(武田 正教)

### 地域協議会を傍聴しませんか？

開催日程は、防災行政無線でお知らせします。詳細は柿崎区総務・地域振興グループへお問い合わせください。

TEL 0256-5636-2211

編集委員長 中村 誠  
編集委員 白井一夫 武田正教  
            蓑輪和彦 吉井一寛  
            吉村 正